

諫早市DX推進計画〈概要版〉

趣旨

近年、新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常生活や社会経済活動に大きな制限が要求され、私たちを取り巻く環境が著しく変化しました。このような状況を踏まえ、既存の制度や組織の在り方を見直し、デジタル化に合わせて変革するという社会全体のデジタルトランスフォーメーション（DX）の取組が活発化しています。本市においても、新たなデジタル技術やデータ等を活用し、市民の利便性を向上させるとともに、業務の効率化を図るため、「諫早市DX推進計画」を策定します。

位置づけ

1. 第2次諫早市総合計画に掲げる『事務の効率化など市民サービスの向上を図る「情報システムの高度化」』
2. 諫早市行政改革指針に掲げる「行政サービスの利便性向上と事務の効率化・適正化の推進」

期間

令和4年度（2022年度）から令和7年度（2025年度）まで

諫早市DX推進計画における基本方針

（1）市民目線による利便性の高い市民サービスを提供する

①行政手続のオンライン化【重点取組事項】

- ・「子育て・介護に関するもの」及び「転出・転入手続」のオンライン化
- ・上記以外の各種手続きのオンライン化

②マイナンバーカードの普及促進【重点取組事項】

- ・休日の申請受付や出張申請受付を継続実施
- ・電子申請を充実させ、利用機会を拡大し、さらなる普及促進を図る

③「書かない」窓口の導入

- ・市民のライフイベントに係る申請書記載等の負担軽減及び迷わない手続案内の充実

④コンビニ交付の導入

- ・マイナンバーカードを利用して各種証明書の取得がコンビニで可能となるサービスの導入

⑤キャッシュレス決済の推進

- ・税の納付について地方税統一QRコードへの対応
- ・各種手数料や施設の利用料等についてQRコード等による決済サービスの導入

（3）業務の効率化を推進する

①情報システムの標準化・共通化【重点取組事項】

- ・国が示す標準仕様に準拠したシステムへの移行

②AI・RPAの推進【重点取組事項】

- ・AIを活用した技術の導入
- ・RPAを活用できる職員の育成及び活用業務の拡大

③テレワークの推進【重点取組事項】

- ・テレワークに対応できる環境の整備

④デジタル会議の推進

- ・デジタル技術を活用した「デジタル会議」の推進

⑤BPRの取組

- ・デジタル技術を活用し、可視化・分析・最適化できる業務フローの構築

（2）地域社会の豊かで安全な暮らしを実現する

①インフラの整備

- ・公衆無線LAN整備施設の拡大

②デジタルデバイド（情報格差）対策

- ・民間企業と連携し、スマホ教室等の参加機会提供

③オープンデータの推進

- ・県、市町と協力し、統計情報や地図情報等の各種データを市民が利用しやすい形で公開
- ・公開型地図情報クラウドサービスの運用開始

④教育環境の整備

- ・統合型公務支援システムの運用開始

⑤安全・安心な防災対策

- ・防災行政無線の音声情報を文字情報としてHP等に転送できる環境整備

⑥情報発信手段の活用

- ・ホームページでの電子行政サービスの充実

（4）徹底した情報セキュリティ対策を講じる

①情報セキュリティポリシーの見直し【重点取組事項】

- ・必要に応じ情報セキュリティ対策規定・対策基準・実施手順の改訂

②情報セキュリティ教育の徹底

- ・情報セキュリティに関する意識・スキル向上に向け、職員教育の徹底

※重点取組事項：自治体が取り組むべきものとして、国の自治体DX推進計画に示された事項